

2026 年 10 月 13 日

各 位

三井住友信託銀行株式会社

学校法人・大学向けエンダウメント形成支援に関する READYFOR との業務連携

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:米山 学朋、以下「当社」)は、READYFOR 株式会社(代表取締役 CEO:米良 はるか、以下「READYFOR」)と学校法人・大学(以下「学校法人」)におけるエンダウメント(※)の形成・運営を協働して支援する新たな枠組みの構築について基本合意し、覚書を締結しましたのでお知らせします。

両社は、互いの専門性を組み合わせることにより、学校法人が有する多様な経営資源を持続的な財源へつなぐ新たなエンダウメントモデルの構築・普及を目指します。

(※)エンダウメントとは、寄付金等を原資として長期的に運用し、主にその運用益を教育研究等に継続的に活用することで、持続的な財源の確保を目指す仕組みです。

1. 背景・目的

学校法人には、教育研究を通じた使命を将来にわたり果たし続けることが求められている中、18 歳人口の減少や教育研究競争の激化、物価上昇を始めとした環境は大きく変化しており、教育研究活動を支える持続的な財務基盤の構築は一層重要となっています。当社は、遺贈寄付、不動産活用、資産運用・管理等の高い専門性と豊富な実績を有しており、READYFOR は、学校法人をはじめとする非営利法人に対する共感形成およびファンドレイジング支援において豊富な知見と実績を有しています。

このたび両社は、それぞれの強みと専門性を融合し、新たなエンダウメントモデルの形成と運営を一体的に支援することで、学校法人の財務基盤強化と持続的な資金循環の実現を通じて、教育研究活動のさらなる発展に貢献することを目指し、覚書を締結しました。

2. 業務連携・協働事項

当社は、遺贈寄付、不動産活用、資産運用・管理等の専門性を生かし、学校法人が有する資産の活用から、形成された資金の運用・管理までを一貫して支援します。

READYFOR は、学校法人の使命や教育研究活動への理解を踏まえ、共感形成、ファンドレイジング戦略、寄付テーマの設計、情報発信および支援者との継続的な関係構築に伴走支援します。

本連携を通じて、当社はその資金および学校法人が有する資産を長期的かつ安定的に管理・運用することで、教育研究活動への持続的な資金還元に貢献し、READYFOR は人々の共感や社会貢献への想いを寄付等の具体的な支援へとつなげます。

(協働事項)

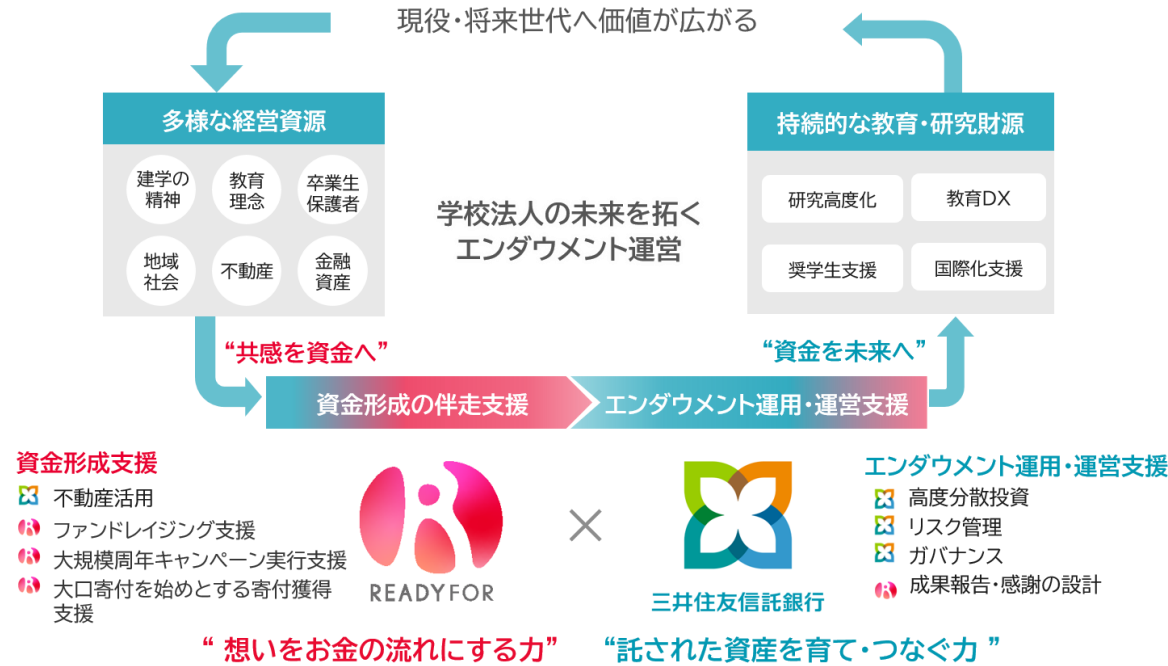
1. エンダウメント形成戦略の立案支援
2. ファンドレイジング支援
3. 遺贈寄付、不動産活用等による資金形成支援

4. 資産運用・管理およびエンダウメントの継続的な運営に関する支援
5. 支援者との関係構築、情報発信および成果報告に関する支援
6. 情報提供、普及・啓発活動
7. 実践を通じて得られた知見を踏まえたエンダウメントモデルの高度化
8. その他、両社が合意した事項

三井住友トラストグループは「託された未来をひらく」をパーパス（存在意義）に掲げ、社会課題の解決と持続的な経済成長の両立を実現する「社会課題解決型ビジネスのリーディングカンパニー」を目指しています。

今後も当社は、本連携を通じて、学校法人がその使命を将来にわたり果たし続けるための財務基盤の強化を支援するとともに、社会から寄せられる共感と支援を未来の教育研究を支える資金へとつなぎ、その価値を世代を超えて循環させる仕組みづくりに貢献していきます。

[本連携のイメージ(学校法人向けエンダウメント形成・運営支援の全体イメージ)]



[参考] READYFOR 株式会社の概要

会社名	READYFOR 株式会社
代表者	代表取締役 CEO 米良 はるか
設立	2014 年7月
所在地	東京都千代田区二番町 11-7 住友不動産二番町ビル 6 階
URL	https://corp.readyfor.jp/

以上